

エネルギー  
インフラの  
憧憬

## 水力発電設備をリパワリング 100年単位の安定供給を目指す

長山発電所 Jパワー

稼働開始から50年近くが経過した水力発電所で、水車・発電機などを最新技術で更新・増強し、発電効率の向上や出力増加を図る「リパワリング」が全国的に行われている。

高知県安芸郡北川村にあるJパワー長山発電所もその一つだ。1960年7月の運開から60年以上が経過したことから、2023年10月から2年かけてリパワリング工事

を実施。地域への影響を少なくするため、出水期・夏季重負荷期、アユ漁や産卵の時期などを勘案して慎重に工事期間の調整を行った。急峻な斜面と奈半利川に挟まれた狭隘した発電所スペースでの工事は設備の搬入などにおいて大変苦労したという。

現在、更新作業を終え、出力は3万7500kWから3万8500kWまで1500kW引き上がった。

